

## 令和2年度 本宮市介護保険運営協議会兼本宮市地域包括支援センター運営協議会

I. 開催日時 令和2年7月29日(水) 15:00~16:20

II. 開催場所 えぼか 2階 中会議室

### III. 出席者

委員：吉田委員、古田部委員、安田委員、檜村委員、安齋委員、川名(直)委員

川名(克)委員、遠藤委員、堀内委員 川名(修)委員 計10名

事務局：坂上保健福祉部長、渡辺高齢福祉課長、菅野包括支援係長、宮内副専門保健技師  
川名介護保険係長

桑原本宮第1地域包括支援センター長、遠藤本宮第2地域包括支援センター長、  
佐藤白沢地域包括支援センター長

### IV. 進行

1. 開 会

2. 挨拶

3. 報 告

- (1) 介護保険事業の状況について
- (2) 令和元年度介護給付費の状況について
- (3) 地域包括ケアシステム構築に向けた取り組み状況について
- (4) 令和元年度本宮市地域包括支援センター活動について
- (5) 地域密着型サービス整備事業について
- (6) 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査及び在宅介護実態調査について

4. 議 事

- (1) 第9次高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画について
- (2) 介護保険利用者負担軽減対策事業(市単独事業)について

5. その他

6. 閉 会

### V. 会議経過

1. 開 会【欠席委員なし、出席委員過半数により協議会の成立を確認】

2. 挨拶【古田部会長・坂上保健福祉部長】

《ここより、会長が運営協議会の議長となり進行》

3. 報 告

- (1) 介護保険事業の状況について
- (2) 令和元年度介護給付費の状況について
- (3) 地域包括ケアシステム構築に向けた取り組み状況について
- (4) 令和元年度本宮市地域包括支援センター活動について
- (5) 地域密着型サービス整備事業について
- (6) 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査及び在宅介護実態調査について

◆資料により一括報告

◆質 疑

【委 員】

新聞報道によると全国の認定率も増加傾向にあり、県では19.1%とのことだが、市は16%と低く素晴らしい。

**【事務局】**

本市の高齢化率は県内でも若い方から5番目程度。自立支援型地域ケア会議を定期的  
に開催し、多職種の方に意見をいただく取り組みも行っていることも一因かと思われる。

**【委員】**

新型コロナウイルスでの行事中止があったかと思うが、その埋め合わせなど包括の  
活動はどのように行ったか？

**【事務局】**

ホームページ上での運動等の啓発、ラジオの活用を行った。

訪問自粛のムードもあったが、このような時こそ訪問すべき人には、感染対策を行い  
ながら訪問した。介護予防教室も三密を避けた形で開催した。

保険料当初発付通知へのチラシの同封、サロン再開に当たっての感染対策のチェック  
リストの提示も行った。大変な中ではあるが、できることから取り組んでいきたいので  
ご理解いただきたい。

**【委員】**

資料4pの④介護予防訪問リハビリテーションの計画と決算額の相違の理由は？全  
国では新型コロナウイルスの影響で訪問介護が減少していると聞くと、市での影響は？

**【事務局】**

計画は国の指針に基づき機械的に作成しており、件数の少ないサービスでは差が出た  
と考える。なお、一つ一つのサービスで決算に相違が生じても総費用は計画内であり、  
現計画に影響はない。

集計までの時差もあり、新型コロナウイルスによる影響は把握できていない。

**【委員】**

地域密着型サービス整備事業について、今回の応募方法、時期、事業所の動きは？

**【事務局】**

現計画策定時点で事業所の動きがあったが、応募に至らなかったことは前回の会議で  
報告した通り。今年は応募期間を延ばしたい。

**【委員】**

地域包括支援センターの職員が不足していたが、補充されたか。足りない場合他包括  
で助け合うなどの仕組みはあるか。

**【事務局】**

来たる8月1日現在で、一中学区担当の第一包括は1名となる。定数を充足するため、  
補充に向けた取り組みを強めている。二中学区の第二包括は2名の定数を充足している。  
白沢中学区の白沢包括は2名いれば十分であるが、3名の配置に加え事務職もおり手厚  
い状況である。

**【委員】**

若年層の認知症の半分はアルツハイマーであり、早期の方であれば活動もできると言  
われている。仕事への関わり方など取り組んではどうかと思う。

**【事務局】**

若年性認知症でも働き、丁寧に仕事をする方がいることは聞いているが、詳細な職域  
の状況については把握していない。介護事業所の中では、リハビリや各種活動に取り  
組まれている。他地区での先進事例の横展開について、事業所の希望等あれば助言等  
したい。

**【委員】**

認知症の行方不明者、県内では11名が亡くなったとの新聞報道があった。市内では

QRコードの事業も行っているが、どのような状況か。

【事務局】

警察署に保護された方は年間で数名いた。死亡者の情報は入っていない。QRコードは11名の利用者がいる。徘徊の症状がある方全てを網羅しているわけではないが、心配のある方には利用いただけていると考えている。

#### 4. 議 事

(1) 第9次高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画について

◆資料により説明

◆要 望

【委 員】

国では、感染症対策を含めた計画を提案するとの情報もあるので、そのような予算、計画を要望したい。

(2) 介護保険利用者負担軽減対策事業（市単独事業）について

◆資料により説明

◆質 疑

【委 員】

介護保険料や施設の諸経費が上がっているの、個人的には続けていただきたいが、予算の事情である。

【委 員】

今年度の助成実績は。

【事務局】

今年度の実績については7月が申請時期であることから、現在集計中である。なお、措置終了時に介護保険利用へ切り替わった方は、現在利用していない。

#### 5. その他

◆委員より、多職種連携ツールである「キビタンケアネットサービス」（医療と介護の情報ネットワーク）について情報提供があり、介護事業者の導入促進依頼がなされた。

#### 6. 閉 会